

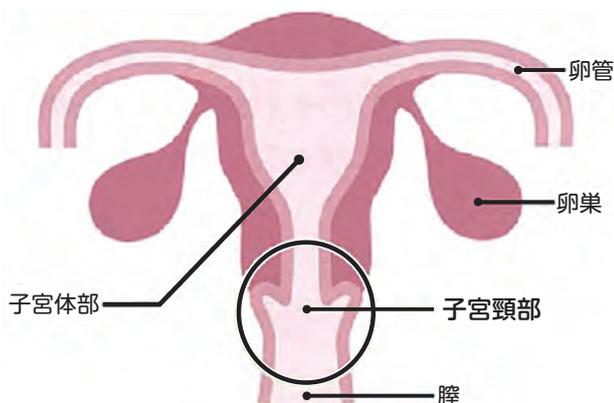
子宮頸がん検診

子宮頸がんの患者は20歳代後半から増え、特に30歳～40歳代の妊娠出産を迎える時期と重なる女性の患者が近年増加傾向にあるのが特徴です。

初期の子宮頸がんでは症状がほとんど出ませんが、細胞診という検査を受けることで、がん細胞になる前に発見し治療を行うことができます。早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠出産も可能です。定期的に検診を受け、早期に発見することが大切です。



子宮頸がんのできる部位



◆対象者

令和3年4月1日現在で20歳以上の女性のうち、生まれ年が西暦で奇数年（大正・昭和で偶数年、平成で奇数年）の方

※2年に1回の受診です。

※対象者のうち、令和元年度および令和2年度に受診した方に受診票等を郵送しています。

◆検診方法

医師による診察および子宮頸部細胞診

検査にかかる時間は5分程度です。子宮の入り口をブラシで軽くこすって細胞を採取します。痛みはそれほどありません。

◆自己負担額 500円

子宮がんの主な症状

- 月経（生理）以外に出血がある
 - 性交、膣洗浄、婦人科での内診の後出血する
 - 生理が以前より長く、重くなる
 - 普段と違うおりものが多くなる
 - 骨盤の痛みがある
- ※気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐに医療機関を受診してください。

◆検診日程

受付時間 午前の部：9時30分～（★は9時～）
午後の部：13時～

実施日	会場
11月24日(水)	保健センター
11月26日(金)	東部台文化会館
12月6日(月)	保健センター
12月9日(木)	本納公民館
12月14日(水)	保健センター
12月20日(月)	
12月21日(火)	東部台文化会館
12月23日(木)★	保健センター
12月25日(土)★	
1月8日(土)★	

★は、乳がん検診と同時受診者のみ受診可。

※受診希望日の10日前までにお申し込みください。

申込み・問合せ 健康管理課（2階） ☎ kenkou@city.mobara.chiba.jp
保健センター ☎ (20) 1574 FAX (20) 1600
☎ (25) 1725 FAX (25) 1865